

スポンサー様

JJSF 全日本選手権 第4・5戦 in 蒲郡

開催日

6月15・16日

開催場所

愛知県 蒲郡市

出場クラス

Pro Ski Open

結果

第4戦 予選：3位

決勝：11位

第5戦 予選：3位

決勝：3位

第4戦

前回までのレース会場とは異なり、今回の会場は全日本選手権では初の開催となる場所でした。午前中は全く波もなく平水面だったものの、午後には肌寒く感じるほどの風が吹き始め大きな波も立ちはじめました。

予選のスタートグリッドはアウトグリッドでした。スタートは上手く決まったものの外から1艇にまくられてしまい、アウトの2番で合流では3位でした。レース中盤に何度も2位の選手に並びかけるものの、あと1歩というところで抜けず3位でのゴールとなりました。

決勝ではアウトグリッドのインから3番目の場所からスタートしました。スタートはほぼドンピシャで決まり、イン側にいた2台と並ぶように1ブイに入りました。2つ目のブイを曲がった時点では3位でしたが、次の3つ目のブイまでに2位の選手を抜ける!!と思い追い波の中を全開で行きました!ところが、自分の予想以上の大きな波が途中に存在し、その波によって今までに飛んだことの無い高さまで高く飛んでしまいました。その飛んでいる際、他の選手達のヘルメットを見下ろしたのを、今も鮮明に覚えています。その後着水では運悪くちょうど深く掘れた波の合間に着水したため、パワーサブマリン状態で2m近く潜ってしまいました。(何といっても100km/h以上の速度が出ていましたので...)その後時間をかけてようやく浮上した頃には最後尾になっていました。正直、浮上後の記憶があまりありません。そこからレース復帰し数台を抜かし、ホームストレートエンドの2点ブイでは一気に2艇ほど抜きにかかろうとアクセル全開で外から被せに行きました。しかし、全開での旋回中にまたも想定外の波を受けてしまい、強烈なハイサイドを受けて大転倒してしまいました。落水時に激しく大腿部を強打してしまい、痛みで泳ぐ事もままならず、再度船まで泳ぎ乗り込むのに多くの時間を費やしてしまいました。この落水時は、艇とヘルメットだけが走行ラインに浮いていた状態でしたが、素晴らしい技術をお持ちのプロの方々、上手く僕を避けてくれました。本当にありがたかったです。

そして、レースへ再再復帰した時には、すでにTOPの選手にラップされそうな感じでした。しかし、最後まで諦めずに走り切り、フニッシュまでに何艇か抜き11位でのゴールとなりました。とても悔しい結果と激しい痛みを伴いましたが、逆にとても良い勉強になりました。

第5戦

前日の第4戦とは打って変わっての天気となり、照りつけられるような陽気になりました。しかし風は午前中から強く吹き始め、随時レースコンディションが変わってしまうような難しいレース展開となりました。

また、昨日の大転倒での足の痛みは酷く、昨晚から歩行困難になっていました。取りあえず、当日の練習走行で足の調子を見たのですが、やはり痛みがあり、踏ん張れない感じでした。その為、チーム員の方から、痛み止め、湿布等を頂き、テーピングをしてレースに臨む事にしま

した。

予選ではアウトグリッドの大外からスタートをしました。スタートのタイミングは良かったものの、内側にいた2艇に先行されてしまい3位で1ブイを曲がりました。合流でも変わらず3位でそのままホームストレートへ入りました。その後は足の痛みと船の調子を見ながら予選突破を念頭に入れ、無事に3位でのゴールとなりました。

決勝ではイングリッドの2番目からのスタートでした。左右には特にスタートの速い選手がいた為、何としてでもホールショットを狙って前に出るしかありませんでした。スタートは完璧に決まり、左隣のライダーとほぼ並んだ状態で1ブイに向かいました。1ブイの手前にはいやらしい波があったものの、昨日の教訓を生かし何とかその波を上手く超えてアクセル全開でブイを曲がって行った結果、ホールショットを獲得できました。合流ではアウトグリッドのホールショットのライダーに続いて2位でホームストレートに向かいました。4周目あたりに勝負に出る為にチョイスをかけました。しかし、僕のプッシュが足りず、1位の選手を抜く事が出来なかったどころか、逆のコースを選択した3位の選手に抜かれてしまいました。勝負に出るタイミングを間違えたとしても反省しています。その後1位、2位選手に着いていく事は出来たのですが、最後まで追い抜くことができず、4位の選手からは毎週猛アタックを受けるといふ非常に厳しい3位フィニッシュとなりました。

レースを終えての感想

第4戦では自分の空回りによって沢山のミスをしてしまい、とても情けない結果となってしまいました。第5戦では優勝することができなかったものの、どうにか表彰台には食い込むことができました。今回の第5戦の決勝を通じて、トップ選手の背後につくことによって自分には足らなかったレースの組み立て方や戦略などを知り、とても良い勉強になりました。これは練習を通じてでは知ることのできないものであり、今回のレース内容は、僕にとってとても濃いものとなりました。

現在のシリーズランキングは5位で、残すは後3戦です。今シーズンはこの第5戦を終えましたが、毎回優勝者が変わるという異例の激戦状態になっております。よってこの結果が意味するものは、現在TOP10 辺りまでの選手のポイント差が僅差であり、どの選手にもシリーズチャンピオンになれる可能性が残っているという事です。今後とも気を緩めず、全日本タイトル獲得に向けて前進し続けていきます。そして残りのレースは全て優勝を狙い頑張っていきます!!

今後とも応援の程宜しくお願い致します!!



レーシング・スポーツ・クラブ・メイエン
Team WPS Japan
#17 小原 聡将